

企画書	作成者	作成日
	グループF	2025年10月31日

テーマ	中間管理職を助けるタスク管理システム
依頼内容（目的）	
<p>今、多くの会社では「この仕事はAさんに頼もう」といった、上司の経験や感覚に頼った仕事の進め方が主流です。その結果、仕事のやり方が「あの人しか分からない」状態になったり、無駄が多くなったりしています。これでは、「誰が何で忙しいのか見えない」「特定の人にばかり仕事が偏る」「言った・言わない問題で手戻りが増える」といった問題が起きてしまいます。</p> <p>この企画は、そんな働き方を根本から見直すためのものです。新しいシステムを導入し、チームの仕事を見える化し、「誰でも同じようにできる仕組み」を作ります。一般社員同士が助け合い、仕事のコツをチームみんなの宝物にすることで、会社全体の仕事の効率を上げながら、社員一人ひとりが成長できる環境を目指します。</p>	
企画内容（アイデア）	
<p>管理職のみの機能</p> <p>1. 上司によるマネジメント支援機能（指示の明確化と知見管理）</p> <p>上司（マネージャー）は、業務を細分化してメンバーに割り当てることで、タスクの目的・範囲を明確に提示できます。</p> <p>さらに、一般社員（メンバー）が作成したマニュアルを承認し、チームの公式な手順として確定させる役割を担います。</p> <p>また、タスク分類に用いる「タグ」も承認制とすることで、チーム全体の情報の品質と統一性を維持します。</p> <p>2. ワンクリック・タスク委任機能（仕事を任せて、成長を応援）</p> <p>多忙な上司が担当している仕事を、ボタン一つで部下にスムーズに引き継ぐための機能です。「丸投げ」ではなく、部下の成長を促す「前向きな仕事の任せ方」をシステムがサポートします。担当者を変更するだけで、タスクに関連するファイルや過去のコメントといった全情報が自動で引き継がれるため、引き継ぎの手間と漏れを大幅に削減します。もし部下がほかのタスクなどで対応できない場合はタスクの返却もあり、再度別の部下にタスクを割り振れます。</p>	

社内全体で使える機能

1. 柔軟なタスクコラボレーション機能（チームの自律性を促進）

一般社員同士が状況に応じてタスクを譲渡・交換できる仕組みを備え、柔軟な配分を実現します。これにより、「適材適所」のタスク遂行が可能となり、メンバーの主体的な働き方とチーム全体の生産性向上を両立します。

2. 技術の共有・資産化機能（属人化の防止）

業務手順やノウハウはマニュアルとして手軽に作成・共有できます。仕事で疑問が生まれたら、まずはこの蓄積されたマニュアルやQ&Aで解決策を検索。

それでも解決しない場合は、システムが過去のタスク履歴から「その仕事に詳しい人（同じ業務の経験者や上司）」を自動で探し出し、スムーズに質問を繋ぎます。

現場の知見をただ蓄積するだけでなく、「誰に聞けばいいか」までをサポートすることで、自己解決とチーム内の助け合いを促進し、業務レベルを底上げします。

3. 業務プロセスの可視化機能（チームの現状を一目で把握）

チーム全体のタスク状況や、個人ごとの負荷をリアルタイムで可視化します。一覧・ボード・カレンダー・グラフなどの複数表示形式に対応し、目的に応じた最適な確認方法を選択可能。これにより、上司はチーム全体のバランスを即座に把握でき、メンバーも自分のタスク位置づけを直感的に理解できます。

4. 標準タスク管理機能（直感的で効率的な操作性）

期限・担当者・ステータス・ファイル添付・コメント・タグ表示といった基本機能を網羅し、誰でも直感的に操作できるシンプルな設計です。タスク情報を一元管理することで、進捗共有・報連相・成果物の確認がスムーズに行えます。

5. 育成支援コミュニケーション機能（世代を超えた円滑な指導を実現）

年齢や経験が違うメンバー同士が、もっとスムーズに仕事を進めるための機能です。指示や報告のコメントを書くとき、AIが「こんな言い方だともっと伝わりますよ」とアドバイス。うっかり相手を傷つける「地雷ワード」や、世代が違くと伝わらない言葉を事前にチェックして、教える側も教わる側も、安心してコミュニケーションが取れるようになります。

対象者（提案先やシステム利用者）
提案先提案先： IT関連企業 理由： 変化が速く、アジャイルな働き方や自律的なチーム運営が求められるIT業界は、 本システムの価値を最大限に引き出せる市場です。 主な利用者： 上司(マネージャー)： チームの生産性向上と一般社員の育成に責任を持つ立場。 一般社員(メンバー)： 日々の業務を遂行し、チーム内で連携する立場。
事前検証（情報）
他のタスク管理ツールを見ても、現場の裁量に任せる機能は少ない 世の中の間管理職の多くは、部下の育成と業務管理の両立に悩んでいる